

平成 26 年度 G 空間社会実証プロジェクト事業
2020 年東京五輪に向けた G 空間シェアリングモビリティによる
都心活性化プロジェクト
「近未来型自転車ナビゲーション」実証実験の実施

2020 年開催の東京五輪に向け、コミュニティサイクルを通じて都心活性化を図る「近未来型自転車ナビゲーション」の実証実験を実施します。

「近未来型自転車ナビゲーション」は、GPS を補完・補強する機能を持つ国産衛星である準天頂衛星「みちびき」の高精度測位情報を活用し、3D 高精度地図情報とリンクさせることにより、自転車走行レーンや道路の傾斜などのきめ細かな情報をユーザーに届けるものです。たとえば、平坦ルート優先の道案内や目的地の軒先までの正確なナビゲーション、自転車専用道がある場合の誘導などを実施・検証します。

ナビゲーションシステムは、日本語、英語、中国、韓国語の 4 力国語対応で、骨伝導ヘッドフォン、スマートフォン等を活用した近未来型のシステムです。

なお、本実証事業は、国土交通省平成 26 年度「G 空間社会実証プロジェクト事業」の一環として実施します。

内 容	骨伝導ヘッドフォン、スマートフォンを用いた 近未来型自転車ナビゲーションの社会実験
期 間	平成 27 年 1 月 11 日（日）～平成 27 年 1 月 17 日（土） 予備日：1 月 25 日（日）～平成 27 年 1 月 31 日（土）
場 所	台東区内 つくばエクスプレス浅草駅南自転車駐車場
時 間	自転車等貸出受付 9:00～15:00(1 月は概ね午前中で貸出終了予定)

<体制>

調査機関	名古屋大学未来社会創造機構 教授 森川高行 (代表機関) (株)日建設計総合研究所 アイサンテクノロジー(株) エポネット(株)
協力機関	国土交通省国土政策局

<事業名>

平成 26 年度 G 空間社会実証プロジェクト事業
2020 年東京五輪に向けた
G 空間シェアリングモビリティによる都心活性化プロジェクト

<事業目的>

「2020 年東京五輪に向けた G 空間シェアリングモビリティによる都心活性化プロジェクト」(以下「本プロジェクト」と呼ぶ。)として、台東区のレンタサイクル事業を利用した G 空間情報を活用したサービスの実証を行い、自転車社会の問題解決と地域活性化の双方に効率的に対応するための方策、仕組みについて明らかにしていく事を目的とする。

<事業概要>

東京都心地区では、2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催と外国人観光客の開拓、及び都心地区のコミュニティサイクル展開動向を踏まえ、台東区レンタサイクルを利用した準天頂衛星による高精度位置情報や高機能な 3D 地図情報、ナビゲーション技術等を活用した実証実験を実施する。

- 本サービスの実現に必要な高精度な 3D 地図情報の整備・開発
- 日本、英語、中国、韓国語の 4 カ国語によるナビゲーションシステム機器の開発
- 骨伝導ヘッドフォン、スマートフォンを用いた近未来型自転車ナビゲーションの実証実験
- 実証実験による準天頂高精度測位情報による自転車プローブデータと高精度 3D 地図情報を分析することで、G 空間データの地域政策への活用可能性検討

<事業エリア>



準天頂衛星みちびき



受信機
QZPOD

Bluetooth
専用アプリ



骨伝導イヤホン

